

幸福で豊かな生活は、健康な毎日から

はっぴい・らいふ

(一財)九州健康総合センター
北九州市八幡東区平野 1-11-1
電話代 093-672-6050
http://www.kyuken.or.jp
編集 機関紙編集委員会
発行人 野口修司

『甲状腺機能異常について』

甲状腺の働きに異常があると、全身に様々な症状が現れます。甲状腺について名前は知っているのに役割や病気、治療法についてはよく知らない方が多いのではないのでしょうか？今回は先成医師に甲状腺について解説をお願いしました。

○甲状腺と甲状腺ホルモンについて

甲状腺は喉仏のすぐ下にある臓器で、大きさ 4～5 cm、重さ15～20gほどです。ホルモンの一種である「甲状腺ホルモン」を作ります。このホルモンは、血液を通じて全身の臓器に運ばれて、代謝や成長に関わっています。

甲状腺ホルモンには「トリヨードサイロニン(T₃)」と「サイロキシニン(T₄)」があり、これらのホルモンは脳の下垂体から分泌される「甲状腺刺激ホルモン(TSH)」によって調節されています。甲状腺ホルモンが増加するとTSHの分泌は抑制され、甲状腺ホルモンが不足するとTSHの分泌は増加します。

このようにして甲状腺ホルモンは丁度よい塩梅に調整されています。しかし、この仕組みが破綻し甲状腺ホルモンが増加すると甲状腺機能亢進、あるいは低下すると甲状腺機能低下となり様々な症状が現れます。

○甲状腺ホルモン異常による症状

以下に甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症を疑うきっかけとなる症状をまとめています。

甲状腺ホルモン異常による症状

甲状腺ホルモンの不足
甲状腺機能低下

自覚症状

他覚症状

だるい

甲状腺腫

眠い

徐脈

寒さに敏感

顔面の浮腫み

皮膚の乾燥

皮膚温低下

浮腫む

など

便秘

毛髪が抜けやすい

甲状腺ホルモンの過剰
甲状腺機能亢進

自覚症状

他覚症状

動悸

甲状腺腫

汗が多い

頻脈

暑さに弱い

手指振戦

疲れやすい

心房細動

手が震える

など

食欲亢進

やせた

いらいらする

首が腫れた

○検査及び診断について

検査ではタンパク質に結合していないフリー-T₃(FT₃)、フリー-T₄(FT₄)、TSHを測定し、これらに異常がないか調べます。甲状腺機能の異常は、FT₃、FT₄、TSHの結果によって甲状腺機能亢進症、潜在性甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、潜在性甲状腺機能低下症、甲状腺機能正常に分けられます。(図1参照)

甲状腺機能亢進症を来す代表的な原因疾患はバセドウ病、甲状腺機能低下症では橋本病(慢性甲状腺炎)が挙げられますが、それ以外にも原因となる疾患もあり鑑別のため詳しい検査(血液検査、エコー検査、アイソトープ検査など)が必要です。専門機関を受診し、より詳しい検査や治療について相談しましょう。

また潜在性機能亢進症、潜在性機能低下症と判定された場合は自覚症状がないことがほとんどですがその他の疾患のリスクになることもあります。そのため少なくとも経過観察は必要になりますので、病院を受診しましょう。

図1

FT ₄	FT ₃	TSH	
↑または→	↑	↓	甲状腺機能亢進症
→	→	↓	潜在性甲状腺機能亢進症
↓	↓または→	↑	甲状腺機能低下症
→	→	↑	潜在性甲状腺機能低下症
→	→	→	甲状腺機能正常

○最後に

2023年度より当センターでもオプション検査として甲状腺機能検査(TSH、FT₃、FT₄の測定)が可能となりました。当てはまる症状があり検査を御希望される方は、予約時にお申し付けください。



医師 先成 裕介

2023 年度 新規オプション検査のお知らせ

甲状腺機能検査

その症状、実は甲状腺の異常かも？
血液検査で甲状腺のチェックをしませんか？

甲状腺の働きが亢進したり、低下したりすると様々な症状が現れます。左の記事内、【甲状腺ホルモン異常による症状】の中で気になる症状があれば、甲状腺の異常かもしれません。血液検査で気になる症状と甲状腺の関連の有無を調べることが出来ます。

ホルモン不足

むくみ、徐脈、血圧低下、うつ症状、高コレステロール血症、心嚢水貯留などを引き起こす原因になります。

を放置すると…

TSH(甲状腺刺激ホルモン)、FT₄、FT₃(甲状腺ホルモン)を測定し、甲状腺機能の亢進や低下を調べる検査です。

ホルモン過剰

不整脈(心房細動)、心不全、眼球突出、食後高血糖などを引き起こす原因になります。

を放置すると…

【検査料金】4,400円(税込)

予約に関するお問い合わせ
☎093-672-6210

数値の意味は正確な理解が大切！

～数値から考えること～

ある日の日経新聞の紙面広告に、ウクライナ侵攻でロシアに同調する人は世界の32%、ロシアを非難する人は36%、中立が32%という調査結果が掲載されていました。皆さんはこの数値をどう感じますか？数値を通して見えてくることもあるかと思います。ごくごく一部ではありますが、数値を介して考えたい3項目を下記に取り上げてみました。

健康診断

年1回受診する健康診断では、自分の体の状態を数値で把握でき、基準値と比較して対策をすることで、健康の維持、管理が可能です。目には見えない体の状態でも数値で表現することで、共通認識が可能です。

痛みや苦しみ

交通事故などで身体を痛めた時の痛み、失恋したときの心の痛み等々…同じ痛みでも違いがあるようです。他の人にもどれくらい痛いのかわかってもらえるように、専用の単位で痛みを数値で表現し、共通認識したいものです。

世の中の情勢

世界では、内紛や戦争が絶えません。洪水などの自然災害も後を絶ちません。生活水の確保も難しく、毎日の生活に苦しんでいる人が多くいます。苦しみを数値化することによって、その累積値が共通認識できれば、問題をもっと身近に考えられるかもしれません。

数値の意味するところを正確に理解し、自分の体をケアしつつ、世の中の変化に対応していきたいものです。そして世界中の痛みが少しでも減っていきますように…



九州健康総合センター

お問い合わせ先
〒805-0062 北九州市八幡東区平野1-11-1
TEL 093-672-6210 (健診予約)
ホームページ http://www.kyuken.or.jp

編集後記

健康診断の結果には、数値結果や判定符号など様々な結果が載っており、過去に健診を受診された方は過去の結果も一緒に見ることができます。年に一度の健康診断、せっかくの機会ですのでじっくりと結果を見ながら自分の体の状態を確認してみてください。

Y.H